

ドリームズ21st事業所自己評価表

事業所名 松原校

集計結果

対象者数 6名

回答者数 6名

回収率 100.0%

区分	チェック項目	はい	いいえ	改善方法・目標	工夫している点
環境・体制整備	お子様の活動のためのスペースが十分に確保されているか	○			必要に応じて物の配置を変える。1階と2階で活動内容を変える。
	職員の人数は、お子様の人数に対して適切か	○			利用者の数に応じて職員のシフト人数を変えている。
	教室内はすべてのお子様を想定し、バリアフリー化などの配慮や十分な安全対策がなされているか		○	2階建ての施設のため階段があり、車椅子等には対応していない。	子どもたち昇降については、指導員が前後につくなどサポートをしている。
	事業所内は常に衛生的・清潔な状態が保たれているか	○			清掃、換気、空気清浄器の作動及び消毒などを実施し、衛生面に気を付けている。
適切な支援の提供	お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、支援計画が作成されているか	○			支援計画は、スタッフ会議でニーズや課題を客観的に分析して作成している。
	お子様の活動が固定化しないようプログラムが工夫されているか	○			毎月週ごとの重点目標やプランを決めるなど、固定化しないよう工夫している。
	お子様の活動意欲が高まるような創意工夫が行われているか	○			子どものニーズを把握し、パソコンや工作など活動意欲が高まるよう工夫している。
	お子様個々に対して学習支援などが細かく行われているか	○			子ども一人一人の状況に応じた学習プリントを用意し取り組ませている。
	お子様の状況に応じた個別活動や集団活動が行われているか	○		利用者全員が一つの集団活動に取り組みやすいよう、より一層検討する。	集団活動が苦手な子どもはスタッフと組むなど別メニューを工夫している。
	お子様の状況に応じて、学校などの関係機関と連携し、総合的な支援が行われているか	○			子どもの様子を見て学校やトワイライトと情報交換している。
保護者への説明等	支援の内容や利用者負担などについて丁寧な説明がなされているか	○			体験、新規契約、ハグシステム及び個人面談などの機会に説明している。
	保護者様との意思の疎通や情報伝達のための手段であるハグシステムについて、十分な説明がなされているか。	○			体験、新規契約時に、実際のハグシステムを使って説明している。
	ハグシステムなどを通じ、日頃からお子様の状況を保護者様と伝え合い、支援の状況・課題について共通理解ができていますか	○			ハグシステムの行動記録等により情報伝達を密にし、共通理解を図っている。
	保護者様からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、定期的に個人面談会を開催するなど必要な助言と支援が行われているか	○			定期的に個人面談会を行うとともに、ハグシステム等を利用して相談を受けている。
	お子様やその保護者様からの苦情の対応体制を整備し、それを保護者様に周知・説明を行い、苦情があった場合は円滑に対応しているか	○			苦情には迅速に対応している。
	ハグシステムやホームページなどで活動概要や行事予定、連絡体制などがお子様や保護者様に対して定期的に発信されているか	○			ハグシステムやホームページの他、施設独自の案内等で発信している。
	個人情報に細心の注意が払われているか	○			シュレダールを利用するとともに、個人ファイルは鍵付きのロッカーに収納している。
非常時の対応	緊急時対応マニュアル・感染症対応マニュアルを策定し、保護者様に周知・説明されているか	○		各マニュアルは新規契約や個人面談の際説明するよう努める。	
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	○		年に1回は防災訓練を行っているが、今後は回数を増やすことを検討する。	
満足度	お子様は通所を楽しみにしているか	○			子ども達が楽しみにするようなイベントを工夫している。
	事業所の支援に満足しているか	○			
合 計		20	1		